

○計画期間:令和5年4月～令和10年3月(5年)

I. 中心市街地全体に係る評価

1. 令和6年度終了時点(令和7年3月31日時点)の中心市街地の概況

岐阜市中心市街地活性化基本計画では、目指す中心市街地の都市像に「ここにしかない時間の過ごし方をつくり、日常的に訪れたくなるまち」を定め、「時間を消費したくなるような魅力づくり」、「選ばれるまちなか暮らし」を基本方針に掲げる中、まちなかの滞在時間の向上、来街者数の増加、まちなか暮らしを選択する人の増加に向け、各種事業に取り組んでいる。

令和5年3月にリニューアルされたセントラルパーク金公園では、春、秋に開催されるまつりなど、各種イベントで多くの人に活用され、まちの賑わいを創出している。同時期に竣工した市街地再開発ビル「柳ヶ瀬グラスル35」では、健康・運動施設や子育て支援施設等において、市民をはじめ多くの人に利用されている。

また、まちの地域資源を活用した体験プログラム「柳ヶ瀬日常ニナーレ」の企画、実施などを通して、官民連携によるリノベーションまちづくりの取り組みを進める中で、将来のまちを支える若い世代を中心とした担い手が育成されるとともに、この場所に足を運ばないと買えない、体験できないといった個性的な店舗の出店やサービスの提供、イベントの実施などにより新たなまちの魅力が創出されている。

さらに、新たな道路空間の利活用への試み「金華橋ストリートパークライン」や、持続可能な公共交通ネットワークの構築を目指した自動運転バス「G I F U HEART BUS」の継続運転などの取り組みにより、今後の中心市街地における回遊性の向上も見込まれる。

一方で、これまで柳ヶ瀬の活性化や集客力の向上に大きく寄与してきた岐阜高島屋が令和6年7月末で閉店し、まちの賑わいに少なからず影響は生じたが、岐阜柳ヶ瀬商店街振興組合連合会では、柳ヶ瀬を市民の誇りとなる場所へと変えていきたいという決意のもと、柳ヶ瀬の再編計画を発表し、まちなか居住の推進やテナントの誘致活動、さらにアーケードのあり方など、これからの新しいまちづくりに向け自発的な取り組みが見られ、複雑多様化する新たな課題解決に官民連携で取り組んでいる。

【**中心市街地の状況に関する基礎的なデータ**】

(基準日：毎年度10月1日)

(中心市街地 区域)	令和4年度 (計画前年度)	令和5年度 (1年目)	令和6年度 (2年目)	令和7年度 (3年目)	令和8年度 (4年目)	令和9年度 (5年目)
人口	8,934 人	9,374 人	9,454 人			
人口増減数	△16 人	461 人	85 人			
自然増減数	△115 人	△108 人	△116 人			
社会増減数	99 人	569 人	201 人			
転入者数	594 人	729 人	615 人			

※「人口」は各年10月1日時点で算出、「人口増減数」は各月ごとの人口動態の累計として算出しており、端数処理の回数の違いから、「人口の年度間の差」と「人口増減数」は必ずしも一致していない。

2. 令和6年度を取組等に対する中心市街地活性化協議会の意見

ハード事業、ソフト事業ともに、掲載しているそれぞれの事業が進捗している。

令和5年3月に整備された再開発ビル「柳ヶ瀬グラッスル35」や隣接するセントラルパーク「金公園」では、これらの施設を活用したソフト事業が展開され、掲載事業のハード事業、ソフト事業の連携が図られている。

数値目標は、令和6年度末においては、3つの指標のうち「金公園の地下駐車場の総利用時間」、「居住人口の人口動態」の2つについて目標値を達成することとなり、中心市街地の活性化につながっているものと評価する。

しかし、令和6年7月末にこれまで商店街の核的商業施設であった岐阜高島屋が閉店し、柳ヶ瀬及び周辺地区の賑わいに少なからず影響が生じている。一方、岐阜柳ヶ瀬商店街振興組合連合会においては、テナントの誘致活動やアーケードのあり方の検討など、これからのまちづくりに向けた自発的な取り組みが展開されている。

本協議会としては、新たな課題に対し、様々な関係者が広い視点で議論し、ベクトルを合わせて取り組むことが有効であると考えます。特に、高島屋の閉店は柳ヶ瀬およびその周辺地区の賑わいに負の影響を与えるが、逆にこの状況を好機と捉えて有効な取り組みを実施する必要がある。また、充実しつつあるハードを有効に活用するためのソフト面の充実にも注力し、ソフト間の連携も更なる活性化に有効であると認識している。

Ⅱ. 目標ごとのフォローアップ結果

1. 目標達成の見通し

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値	基準値からの改善状況※1	目標達成に関する見通し※2	
						前回の見通し	今回の見通し
滞在時間の向上	金公園地下駐車場の総利用時間	268,628 時間(R3)	318,000 時間(R9)	332,919 時間(R6)	A	A	A
来街者数の増加	歩行者・自転車通行量 [休日と平日の平均](中心市街地の21地点)	38,600 人/日 (R3)	45,700 人/日 (R9)	37,869 人/日 (R6)	C	A	A
まちなか暮らしを選択する人の増加	居住人口の人口動態	△183人 (H30～R4累計)	400人 (R5～R9累計)	546人 (R6)	A	A	A

< 基準値からの改善状況 (※1) >

最新値が基準値や目標値と比較してどうであるかで判断

A : 目標達成、B : 基準値より改善、C : 基準値に及ばない

< 目標達成に関する見通しの分類 (※2) >

計画終了時の数値が、基準値や目標値と比較してどのような見通しかで判断

A : 目標達成が見込まれる

B : 目標達成が見込まれないが基準値を上回ることが見込まれる

C : 目標達成及び基準値を上回ることが見込まれない

※「< 基準値からの改善状況 (※1) >」、< 目標達成に関する見通しの分類 (※2) >ともに、関連する事業等の進捗状況が順調でない場合は、英字を小文字にして下線を引いて下さい。(例 : a、b、c)

2. 目標達成見通しの理由

「金公園地下駐車場の総利用時間」

主要事業は概ね順調に進捗している。引き続き柳ヶ瀬広場整備事業の着実な推進や健康運動施設「ウゴクテ」と子育て支援施設「ツナグテ」の利用者の増加に努めることで、目標の達成は可能と見込んでいる。

「歩行者・自転車通行量」

令和6年7月に県内唯一の百貨店であった岐阜高島屋が閉店したことなどに伴い、柳ヶ瀬地区を中心に通行量は減少し、基準値を下回ったが、主要事業であるリノベーションまちづくり事業や、スタートアップ支援事業、令和7年4月にオープンする「旧若宮町支店跡地活用事業」G's Dreamによるまちの魅力となるコンテンツの創出に加え、「柳ヶ瀬広場整備事業」や「本庁舎跡活用事業」を着実に進め、さらなる来街者の増加を目指すことで、目標の達成は可能と見込んでいる。

「居住人口の人口動態」

主要事業は概ね順調に進捗している。引き続き金公園活用事業の着実な推進や健康運動施設「ウゴクテ」と子育て支援施設「ツナグテ」の利用者の増加に努めるとともに、柳ヶ瀬広場整備事業を着実に進めることで、目標の達成は可能と見込まれる。

3. 前回のフォローアップと見通しが変わった場合の理由

前回から変更はない。

4. 目標指標ごとのフォローアップ結果

(1)「金公園地下駐車場の総利用時間」※目標設定の考え方認定基本計画 P. 56～P. 65 参照

●調査結果と分析



年	(単位) 時間
R3	268,628 (基準年値)
R5	320,535
R6	332,919
R7	
R8	
R9	318,000 (目標値)

※調査方法：駐車場精算機による集計

※調査月：3月

※調査主体：岐阜市

※調査対象：柳ヶ瀬に隣接した市営駐車場



〈分析内容〉

令和6年度の金公園地下駐車場の総利用時間は、332,919 時間となり、目標値である318,000 時間を達成した。これは、令和5年4月に柳ヶ瀬グラスル35内に公益的施設として同時オープンした健康運動施設「ウゴクテ」と子育て支援施設「ツナグテ」の年間利用者数がSNSによるイベント告知や隣接するセントラルパーク金公園との相乗効果により、当初の想定利用者数を達成したことが要因と考えられる。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 柳ヶ瀬広場整備事業（岐阜市）

事業実施期間	令和3年度～令和9年度【実施中】
事業概要	柳ヶ瀬のさらなる魅力の創出とまちの価値の向上を確実に実現するため、交流空間やレクリエーション空間など、多様な機能を有した広場を柳ヶ瀬の中心に整備する。
国の支援措置名及び支援期間	都市構造再編集中支援事業（国土交通省）（令和5年度～令和9年度） 中心市街地再活性化特別対策事業（総務省）（令和5年度～令和9年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】6,213 時間/年 【最新値】— 令和6年度：広場の実施設計
事業の今後について	引き続き、広場の整備に取り組む。

②. リノベーションまちづくり事業（岐阜市）

事業実施期間	令和4年度～【実施中】
事業概要	まちづくりに興味がある人たちが、まちの新旧の様々な資源が持つ魅力を活かした体験プログラムを提供すること（「柳ヶ瀬日常二ナール」の開催）を通して、まちづくりの担い手の育成・裾野拡大を図る。
国の支援措置名及び支援期間	デジタル田園都市国家構想交付金（内閣府）（令和5年度～令和6年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	柳ヶ瀬日常二ナールの開催による、まちづくりの担い手育成・裾野拡大 担い手による提供されたプログラム数 令和6年度：66プログラム（令和5年度：56プログラム） プログラム参加者数 令和6年度：1,015人（令和5年度：426人、）
事業の今後について	引き続き、柳ヶ瀬日常二ナールの開催に加え、暮らしベースの属性、特に子育て世代が自分の好きなことをまちの中で実現できる仕組みを構築するためのきっかけづくりとなるプログラムの開催により、更なるまちづくりの担い手育成・裾野拡大に取り組む。

③. 岐阜市柳ヶ瀬健康運動施設事業（岐阜市）

事業実施期間	令和5年度～【実施中】
事業概要	柳ヶ瀬グラスル35内において、隣接する中保健センターと連携し、健康に対する意識や知識を育み、運動を通じた健康づくりを支援する健康・運動施設を運営する。 また、市の施策である都市型クアオルト健康ウォーキングの拠点として、情報発信やウォーキングの受付を行う。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】3,236時間/年（※岐阜市柳ヶ瀬子育て支援施設事業との合算） 【最新値】6,169時間/年（※岐阜市柳ヶ瀬子育て支援施設事業との合算） 岐阜市柳ヶ瀬子育て支援施設との合算により、事業による目標値を達成。
事業の今後について	事業目標値の達成状態の維持に向け、更なる施設利用者の増加に努める。

④. 岐阜市柳ヶ瀬子育て支援施設事業（岐阜市）

事業実施期間	令和5年度～【実施中】
事業概要	柳ヶ瀬グラスル35内において、遊びを通じて子どもの生きる力を養い、次代を担う子どもを育むとともに、子育て家庭を支援するための、子育て支援施設を運営する。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】3,236時間/年（※岐阜市柳ヶ瀬健康運動施設事業との合算） 【最新値】6,169時間/年（※岐阜市柳ヶ瀬健康運動施設事業との合算） 岐阜市柳ヶ瀬健康運動施設との合算により、事業による目標値を達成。
事業の今後について	事業目標値の達成状態の維持に向け、更なる施設利用者の増加に努める。

⑤. ぎふしスタートアップ支援事業（岐阜市）

事業実施期間	令和3年度～【実施中】
事業概要	JR 岐阜駅と直結する岐阜イーストライジング24内において、リモートオフィスの運営とスタートアップ相談窓口の二本柱としたスタートアップ支援事業を行い、多様なライフスタイルに対応できる労働環境を提供するとともに、起業家数の増加や新たな事業やサービスの創出などを図る。
国の支援措置名及び支援期間	デジタル田園都市国家構想交付金（内閣府）（令和5年度～令和6年度）

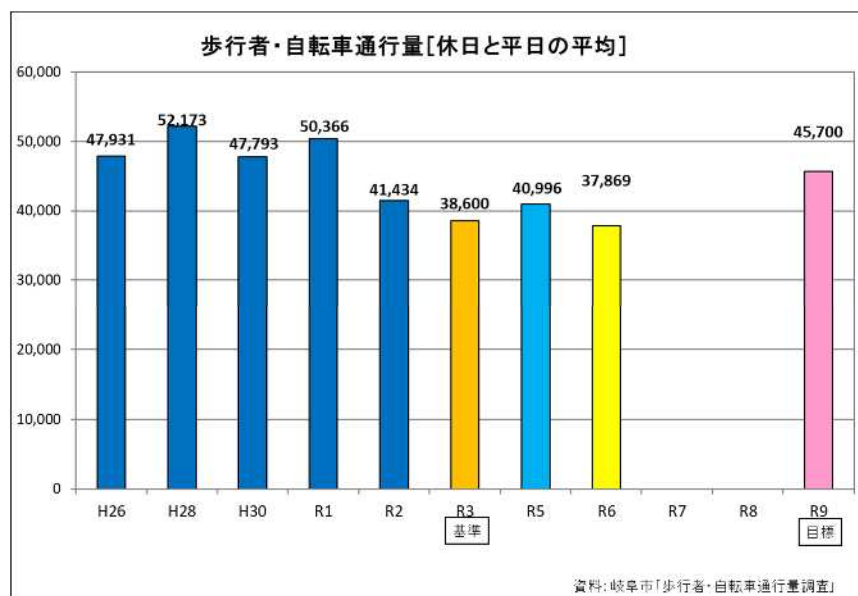
事業目標値・最新値及び進捗状況	スタートアップ相談窓口における相談件数 令和6年度：564件（令和5年度：561件） 相談者のうち起業した件数 令和6年度：24件（令和5年度：27件） 令和6年度の相談件数、起業件数は令和5年度とほぼ同程度で推移している。
事業の今後について	起業を促す環境づくりを進め、起業を志すプレイヤーの増加に取り組む。

●目標達成の見通し及び今後の対策

主要事業は順調に進捗している。令和5年4月30日に同時オープンした岐阜市柳ヶ瀬健康運動施設「ウゴクテ」及び岐阜市柳ヶ瀬子育て支援施設「ツナグテ」の施設利用者は各施設の整備計画策定時の利用者数を達成しており、引き続き施設利用者の増加に努めることで目標達成は可能と見込んでいる。

（２）「歩行者・自転車通行量[平日と休日の平均]（中心市街地の21地点）」※目標設定の考え方認定基本計画 P.66～P.78 参照

●調査結果と分析



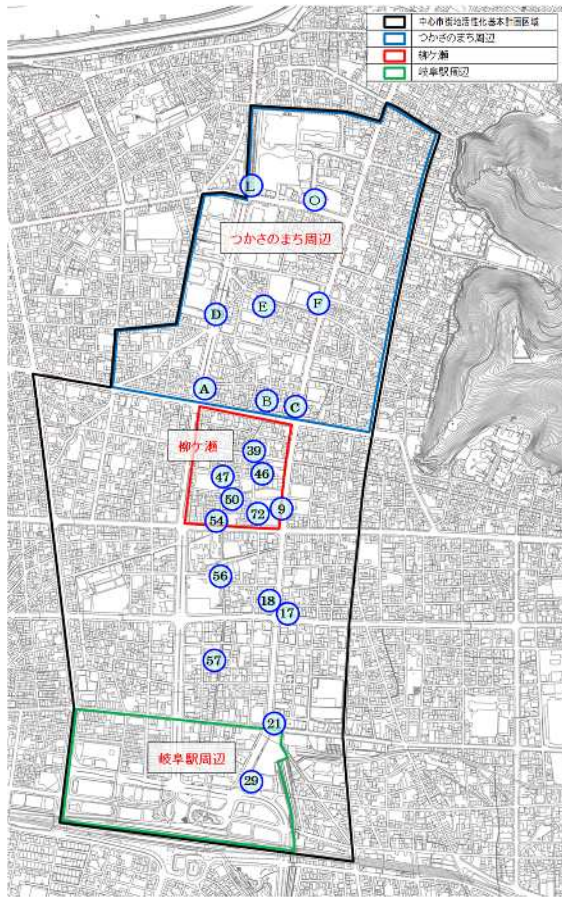
年	(単位) 人/日
R3	38,600 (基準年値)
R5	40,996
R6	37,869
R7	
R8	
R9	45,700 (目標値)

※調査方法：歩行者・自転車通行量調査を中心市街地の対象地点（21地点）において、平日1日、休日1日の10:00～19:00に実施

※調査月：9月

※調査主体：岐阜市

※調査対象：中心市街地の21地点（つかさのまち周辺、柳ヶ瀬、神田町・玉宮、岐阜駅周辺）における歩行者及び自転車の通行量



〈つかさのまち周辺〉

A	金町 1	細田ビル前
B	若宮町 4	武蔵野ビル付近
C	神田町 2	旧岐阜信用金庫若宮町支店前
D	明徳町	ドリームシアター岐阜西南角
E	江川町	旧岐阜市役所西別館前付近
F	今沢町	旧岐阜市役所東
L	美江寺町 2	岐阜市役所 西南
O	美江寺町 1	美江寺公園西北

〈柳ヶ瀬〉

9	神田町 5	旧ドン・ホセ東側
39	柳ヶ瀬通 2	オアシス柳ヶ瀬南側
46	日ノ出町 1	平木屋商店前
47	日ノ出町 2	CINEX 西側
50	神室町 2	広沢ビル前
54	徹明通 2	七番館前
72	徹明通 1	旧ドン・ホセ西側

〈神田町・玉宮〉

17	神田町 6	岐阜信用金庫本店西側
18	神田町 6	円徳寺南東角
56	八幡町	サイフォンラーメン大重食堂岐阜店前
57	玉宮町 1	レザック北川前

〈岐阜駅周辺〉

21	神田町 8	白木ビル西側
29	神田町 10	長良橋通歩行者デッキ階段下

(単位：人)

	令和3年度 (基準年度)	令和5年度 (1年目)	令和6年度 (2年目)	令和7年度 (3年目)	令和8年度 (4年目)	令和9年度 (5年目)
つかさのまち 周辺(8地点)	4,953	5,176	5,149			
柳ヶ瀬 (7地点)	17,507	18,427	15,600			
神田町・玉宮 (4地点)	6,721	8,300	7,563			
岐阜駅周辺 (2地点)	9,418	9,093	9,556			
合計	38,600	40,996	37,869			

※四捨五入の関係上、「各地点の和」と「合計」は必ずしも一致していない。

〈分析内容〉

令和6年度の歩行者・自転車通行量[平日と休日の平均](中心市街地 21 地点)は、37,869 人/日となり、基準年度である令和3年度の 38,600 人/日を 731 人/日(−1.9%)下回った。

これはつかさのまち周辺、神田町・玉宮地区、岐阜駅周辺においては比較的堅調に推

移しているものの、柳ヶ瀬地区においては、令和6年7月末に県内唯一の百貨店であった岐阜高島屋が閉店したことに伴い、柳ヶ瀬地区および周辺地区に訪れる人が減少するなど、少なからず当該地区に影響を及ぼしたことに起因していると考えられる。加えて、本調査を実施した令和6年9月は全国的に気温が高温の日が続き、岐阜地区においても平均28.4℃と平年よりも3.9℃高かったことも減少の要因と考えられる。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 柳ヶ瀬広場整備事業（岐阜市）

事業実施期間	令和3年度～令和9年度【実施中】
事業概要	柳ヶ瀬のさらなる魅力の創出とまちの価値の向上を確実に実現するため、交流空間やレクリエーション空間など、多様な機能を有した広場を柳ヶ瀬の中心に整備する。
国の支援措置名及び支援期間	都市構造再編集中支援事業（国土交通省）（令和5年度～令和9年度） 中心市街地再活性化特別対策事業（総務省）（令和5年度～令和9年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】4,042人/日 【最新値】— 令和6年度：広場の実施設計
事業の今後について	引き続き、広場の整備に取り組む。

②. リノベーションまちづくり事業（岐阜市）

事業実施期間	令和4年度～【実施中】
事業概要	まちづくりに興味がある人たちが、まちの新旧の様々な資源が持つ魅力を活かした体験プログラムを提供すること（「柳ヶ瀬日常二ナール」の開催）を通して、まちづくりの担い手の育成・裾野拡大を図る。
国の支援措置名及び支援期間	デジタル田園都市国家構想交付金（内閣府）（令和5年度～令和6年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	柳ヶ瀬日常二ナールの開催による、まちづくりの担い手育成・裾野拡大 担い手による提供されたプログラム数 令和6年度：66プログラム（令和5年度：56プログラム） プログラム参加者数 令和6年度：1,015人（令和5年度：426人）
事業の今後について	引き続き、柳ヶ瀬日常二ナールの開催に加え、暮らしベースの属性、特に子育て世代が自分の好きなことをまちの中で実現できる仕組みを構築するためのきっかけづくりとなるプログラムの開催により、更なるまちづくりの担い手育成・裾野拡大に取り組む。

③. 岐阜市柳ヶ瀬健康運動施設事業（岐阜市）

事業実施期間	令和5年度～【実施中】
事業概要	柳ヶ瀬グラスル35内において、隣接する中保健センターと連携し、健康に対する意識や知識を育み、運動を通じた健康づくりを支援する健康・運動施設を運営する。 また、市の施策である都市型クアオルト健康ウォーキングの拠点として、情報発信やウォーキングの受付を行う。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】1,436人/日（※岐阜市柳ヶ瀬子育て支援施設事業との合算） 【最新値】2,633人/日（※岐阜市柳ヶ瀬子育て支援施設事業との合算） 岐阜市柳ヶ瀬健康運動施設運営分との合算により、事業による目標値を達成。
事業の今後について	事業目標値の達成状態の維持に向け、更なる施設利用者の増加に努める。

④. 岐阜市柳ヶ瀬子育て支援施設事業（岐阜市）

事業実施期間	令和5年度～【実施中】
事業概要	柳ヶ瀬グラスル35内において、遊びを通じて子どもの生きる力を養い、次代を担う子どもを育むとともに、子育て家庭を支援するための、子育て支援施設を運営する。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】1,436人/日（※岐阜市柳ヶ瀬健康運動施設事業との合算） 【最新値】2,633人/日（※岐阜市柳ヶ瀬健康運動施設事業との合算） 岐阜市柳ヶ瀬健康運動施設運営分との合算により、事業による目標値を達成。
事業の今後について	事業目標値の達成状態の維持に向け、更なる施設利用者の増加に努める。

⑤. ぎふしスタートアップ支援事業（岐阜市）

事業実施期間	令和3年度～【実施中】
事業概要	JR 岐阜駅と直結する岐阜イーストライジング24内において、リモートオフィスの運営とスタートアップ相談窓口の二本柱としたスタートアップ支援事業を行い、多様なライフスタイルに対応できる労働環境を提供するとともに、起業家数の増加や新たな事業やサービスの創出などを図る。
国の支援措置名	デジタル田園都市国家構想交付金（内閣府）（令和5年度～令和6年）

及び支援期間	度)
事業目標値・最新値及び進捗状況	スタートアップ相談窓口における相談件数 令和6年度：564件（令和5年度：561件） 相談者のうち起業した件数 令和6年度：24件（令和5年度：27件） 令和6年度の相談件数、起業件数は令和5年度とほぼ同程度で推移している。
事業の今後について	起業を促す環境づくりを進め、起業を志すプレイヤーの増加に取り組む。

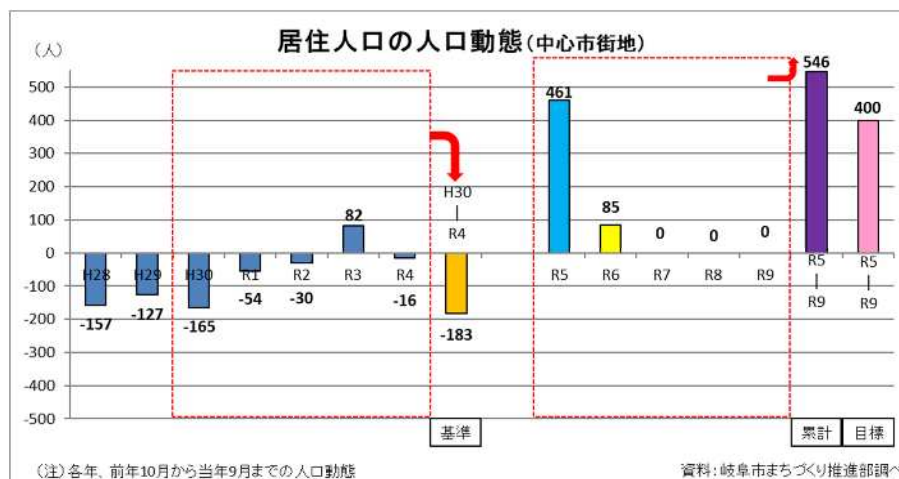
●目標達成の見通し及び今後の対策

主要事業は概ね順調に進捗している。

健康運動施設「ウゴクテ」や子育て支援施設「ツナグテ」の施設利用者数は堅調であり、引き続きリノベーションまちづくり事業によるまちづくりの担い手の継続的な育成・創出に加え、ぎふしスタートアップ支援事業による創業希望者向けの相談窓口の開設や新規出店者への伴走支援を行うことにより、まちの魅力となるコンテンツの創出に取り組むことで目標達成は可能と見込んでいる。

（３）「居住人口の人口動態」※目標設定の考え方認定基本計画 P. 79～P. 82 参照

●調査結果と分析



年	(人)
H30-	△183
R4	(基準年値)
R5	461
R6	85
R7	
R8	
R9	400 (目標値)

※調査方法：岐阜市「住民基本台帳人口」を調査

※調査月：前年10月～当年9月までの1年間

※調査主体：岐阜市

※調査対象：中心市街地

(単位：人)

	平成30年度 ～令和4年度 (基準年値)	令和5年度 (1年目)	令和6年度 (2年目)	令和7年度 (3年目)	令和8年度 (4年目)	令和9年度 (5年目)
社会増減数	147	569	201			
自然増減数	△420	△108	△116			
人口動態	△183	461	85			

〈分析内容〉

令和6年度の居住人口の人口動態は、令和5年度と比較して85人のプラスとなり、令和4年度の基準値に対して、546人のプラスであり、目標値である400人を達成した。これは、令和5年3月に県下最大の335戸の住宅、商業施設、公益的施設を有する市街地再開発ビル「柳ヶ瀬グラスル35」のオープンや民間住宅供給による効果が継続しているためと考えられる。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

① 柳ヶ瀬広場整備事業（岐阜市）

事業実施期間	令和3年度～令和9年度【実施中】
事業概要	柳ヶ瀬のさらなる魅力の創出とまちの価値の向上を確実に実現するため、交流空間やレクリエーション空間など、多様な機能を有した広場を柳ヶ瀬の中心に整備する。
国の支援措置名 及び支援期間	都市構造再編集支援事業（国土交通省）（令和5年度～令和9年度） 中心市街地再活性化特別対策事業（総務省）（令和5年度～令和9年度）
事業目標値・最新 値及び進捗状況	令和6年度：広場の実施設計
事業の今後につ いて	引き続き、広場の整備に取り組む。

② 岐阜市柳ヶ瀬健康運動施設事業（岐阜市）

事業実施期間	令和5年度～【実施中】
事業概要	柳ヶ瀬グラスル35内において、隣接する中保健センターと連携し、健康に対する意識や知識を育み、運動を通じた健康づくりを支援する健康・運動施設を運営する。 また、市の施策である都市型クアオルト健康ウォーキングの拠点として、情報発信やウォーキングの受付を行う。
国の支援措置名 及び支援期間	国の支援措置なし

事業目標値・最新値及び進捗状況	令和6年度施設利用者数：72,550人 高島屋南地区公共施設（健康・運動施設）管理運営計画で定めた年間利用者数（55,500人/年）は達成した。
事業の今後について	施設利用者の増加に努め、新たな民間投資の誘発につながる施設運営に取り組む。

③岐阜市柳ヶ瀬子育て支援施設事業（岐阜市）

事業実施期間	令和5年度～【実施中】
事業概要	柳ヶ瀬グラスル35内において、遊びを通じて子どもの生きる力を養い、次代を担う子どもを育むとともに、子育て家庭を支援するための、子育て支援施設を運営する。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	令和6年度施設利用者数：176,076人 岐阜市高島屋南地区公共施設整備事業基本計画で定めた年間利用者数（80,000人/年）を達成。
事業の今後について	更なる利用者数の増加に努め、新たな民間投資の誘発につながる施設運営に取り組む。

●目標達成の見通し及び今後の対策

主要事業は概ね順調に進捗している。

引き続き、柳ヶ瀬広場整備事業や岐阜市柳ヶ瀬健康運動施設事業、岐阜市柳ヶ瀬子育て支援施設事業など、まちなかで暮らしたくなるような環境づくりにより、目標達成は可能と見込んでいる。